

# CNニュース(認知症看護)

## 「認知症・せん妄ケアマニュアル」のご案内



**次年度に予定されている病院機能評価では、行動制限や身体抑制を行わないような工夫をしていることが求められています。**

当院では「認知症・せん妄ケアマニュアル」があり、環境調整などの工夫について、せん妄のリスク薬、せん妄発症時の薬剤について記載しています。

マニュアルの存在を知っておくことはもちろん、マニュアルの内容は絶対に聞かれます。  
**この機会に再確認しておいてください!**

### もしかして認知症？

**認知症であっても、薬が処方されていない、把握されていないことがあります。**

- ・自分で服薬管理ができない
- ・ナースコールが押せる
- ・何度繰り返しても、説明すれば絶食や検査などの指示は理解できる繰り返しの説明が必要であるが、もしくは繰り返しの説明を聞いたとしても忘れてしまう。
- ・安静度を守るためには繰り返しの説明が必要
- ・セッティングすれば食事を自分で摂取することができる
- ・トイレ介助は移動時のみ(見守りを含む)で、トイレ動作(ズボンの上げ下げや拭き取りなど)は自立しているトイレの場所が分からないので見守りが必要という意味でしょうか？
- ・トイレ動作(ズボンの上げ下げや拭き取りなど)は自立しているが、迷う可能性があり、移動時の見守りが必要

認知症高齢者の日常生活自立度判定

「Ⅱ」の主な症状(病院で)を拡大すると

「内服自己管理が出来ない」「繰り返し説明したら安静度が守れる」など

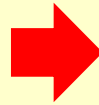
マニュアル内にある「認知症高齢者の日常生活自立度判定」で患者の状態にあわせた判定区分を評価してください。

「認知症・せん妄ケアマニュアル」は、病棟や外来の本棚にあります。青色のシールのマニュアル類と共に設置することが定められているため、場所の確認もお願いします。



# 「認知症・せん妄ケアマニュアル」内容紹介

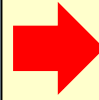
●せん妄発症時の対応について、せん妄リスク状態の計画に合わせた、具体的な内容を記載しています。  
せん妄予防ケアや、せん妄発症時のケア  
 せん妄についての看護計画立案時の参考にしてください。



## 安全安楽な環境の例



●せん妄を引き起こしやすい薬剤やせん妄発症時の薬物療法について精神科の医師と相談の上記載しています。ベンゾジアゼピン系薬剤のみでなく、汎用する薬剤がハイリスク薬であることも多いです。確認してください。

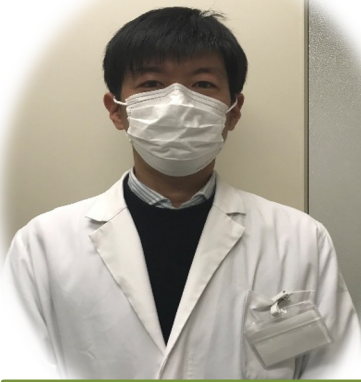


せん妄を引き起こしやすい薬剤	せん妄を引き起こす可能性のある薬剤
<b>抗コリン作用のある薬剤</b> アトロピン、三環系抗うつ薬、トリヘキシフェニル、ジフェンヒドラミン、抗痙攣薬	<b>パーキンソン病治療薬</b> レドパ、プロモプリドン、アママンタジン、MAO-B阻害薬(レボドパ)
<b>GABA作用薬</b> ベンゾジアゼピン系薬剤、バロプロフェン	<b>降圧薬</b> カプトプリル、クロニジン、レセルピン、メチルドパ、プロプラロール、チモロール
<b>麻薬系鎮痛薬</b> モルヒネ、フェンタニル、オキシコドン、ペンタゾシン	<b>抗不整脈薬</b> ジフルエダド、チカイン、メキシレチン、プロカイナド
<b>その他</b> 副腎皮質ステロイド	<b>抗菌薬</b> アミノグリコシド系、アムホテリジンB、セフェム系、クラムフェニコール、イソニアジド、リファンピリン、テラサイクリン系、バンコマイシン、ホリダゾール
	<b>抗ウイルス薬</b> アシクロビル、ゾシドクロビル
	<b>免疫抑制剤/免疫賦強薬</b> ホシキサート、シタラビン、ビクリスチン、ビンブラスチン、フルオロウラシル、タカルバジン、タモキシフェン
	<b>交感神経阻害薬</b> アミノグリコシド系、テオフィリン、エタドリン
	<b>非ステロイド性抗炎症薬</b> イブプロフェン、インドメタシン、ナプロキセン、スリダグ

「せん妄の治療指針 第2版」より一部改変

私たちが監修しています。上記は一部抜粋しただけなので、この機会に一度目を通してください。

## 「認知症・せん妄ケアマニュアル」



神経精神科  
内田講師



脳神経内科  
武田講師

今後、認知症ケア加算の算定も予定しており、ますます認知症ケアを充実させるべく活動しています。  
 わからないこと、気になることがあれば、お気軽にご連絡ください。毎週金曜日に活動しています。

認知症看護認定看護師 小林・増田